

私の家は母子家庭です。私が小学一年生の頃から今までの間母子家庭で育ってきました。

私の家族が母子家庭になった理由ですが、私は真実を知りません。母親と父親がケンカしたからという安易な理由を聞かされています。当時私はまだ幼かったためなんで父親がいないのか、なんで引越しをするのかとても不思議だったのを覚えています。いつか本当の理由を知りたいと思っています。

母子家庭での生活は一般の家庭とほとんど変わりません。遊びに行ったり、学校に行ったりなど不自由のない生活が送れています。これは母親が一日中仕事をしてくれて私を不安にさせないようにしてくれているおかげだともいます。それでも父親がいない分大変なこともあります。兄弟内で家事を分担して行ったり、月のおこずかいはなく、お年玉や祭りの謝礼などで自分の買いたいものを買ったりなど自分達がかまんすることもあります。このことについて私は母親が頑張っている自分達も頑張らないといけないと思うので苦には思いません。

私は母親に今の生活大変じゃないのと聞いたことがあります。母親は、

「大変だし、自分だけではできないこともあるけど、会社の人達や、周りの人に助けてもらいながら過こしているよ。」

と教えてくれました。私は私達家族は自分達だけではなく周りの人の支えもあることで成り立っているのだなと感じました。

母は周りの人に感謝することの大切さを教えてくれます。母は一生懸命働く姿を見せてくれます。また、母は明るい笑顔で私たち姉妹に安心を与えてくれます。私は、そんな母と笑い合っている時間が一番好きです。

もちろんたまに、怒られてイライラしたり反抗してしまうこともあるけど、今暮らせているのは母のお陰なので母に感謝して過こしていきたいです。